

<速効型> ヒトインスリン製剤

○：採用 △：限定採用 ×：非採用

一般名	商品名	採用 現行 ↓ 提案	含有単位 薬価 1単位あたり	会社名	作用時間 (hr) ※皮下注射			用法	開封後期限	性状	特徴	併用
					発現	最大	持続					
ヒトインスリン	ヒューマリンR注 カート 	×	300単位 1287円 4.29円	リ リ ー	0.5) 1	1) 3	5) 7	毎食前	4週間	無色澄明	<ul style="list-style-type: none"> アナログ製剤（超速効型）に比べ立ち上がりもピークに達するのも遅い 食前30分前に注射し、予測通り30分後に食事をとらないと低血糖の危険性あり ※アナログ製剤（超速効型）は食直前投与でよい 妊婦に対する安全性あり バイアルの適応：皮下注だけでなく静注、筋注OK ↓ アナログ製剤と比較し安価であるため、点滴に混注するのはヒューマリンRのバイアル製剤が使用されることが多い 	必要に応じて持続型を併用
	ヒューマリンR注 ミリオペン 	×	300単位 1689円 5.63円									
	ヒューマリンR注 100単位/mL 	○	1000単位 3110円 3.11円									
生合成ヒトインスリン中性	ノボリンR注 フレックスペン 	△	300単位 1950円 6.50円	ノ ボ	約 0.5	1) 3	約 8	毎食前	6週間	無色澄明	<ul style="list-style-type: none"> アナログ製剤と比較し安価であるため、点滴に混注するのはヒューマリンRのバイアル製剤が使用されることが多い 	必要に応じて持続型を併用
	ノボリンR注 100単位/mL 	×	1000単位 3320円 3.32円									